



私の学校・学級では

## こんな取組が効果的でした！

### 授業では

#### 学習内容を明確にしました！

- 教材研究で、小学校の教科書を見直し、既習事項や系統性を確認するようにしました。
- 目標は必ず板書し、見通しが持てるようにしました。(目標の提示は、授業の冒頭とは限らない。)

#### 発問を工夫し、発言を引き出しました！

- 「なぜ?」「どうして?」といった問い返しの発問を意識的に行いました。
- 既習事項との違いを問うことで、生徒自身が課題を発見できるようにしました。
- 誤答を意図的に取り上げることで、生徒が解答を振り返る場面を設けました。

#### 学力層に応じた支援を心掛けました！

- 問題解決場面では、初めから多くのヒントを与えず、段階的にヒントを出すようにしました。
- 上位層向け、それ以外の生徒向けの2種類の練習プリント(練習問題)を用意しました。
- 教師に丸をもらった生徒がミニティーチャーとなり、解き終わっていない生徒への手助けを行うようにしました。

#### 主体的に学べるようにしました！

- 日常生活や社会と関連する問題、複数の答えが考えられる問題等を出題し、生徒の興味・関心を高めるようにしました。
- 授業の冒頭で、本時に関係する既習事項の確認テスト(確認問題)を行いました。
- キーワードを示すなどの工夫を行い、生徒の言葉で課題を設定するようにしました。

#### 学び合う場面を設定しました！

- ペアで相談できる時間をこまめにとりました。
- グループで最初に解答できた生徒が、他のメンバーの解答の確認を行いました。また、考えをメンバー全員が説明できるようにしました。

#### まとめ・振り返りを必ず行いました！

- キーワードを確認するなどの工夫を行い、生徒自身の言葉でまとめが書けるようにしました。
- 自己評価カードに、「今日学んだこと」の欄を設け、毎時間振り返りを行うようにしました。
- 授業の最後に次時の予告を行い、予習的な課題を宿題にするようにしました。

#### 板書やノートを充実させました！

- 1時間の板書が全て残るように構造化しました。
- ノートに、自分の感じたことや、他者が発言したこと等のメモをとれる欄を設けました。
- 図形や文章問題等では、プリントを使い、ノートに書く時間を短縮するようにしました。



### 家庭学習・補充学習では

#### 家庭学習の充実を図りました！

- 毎時間、宿題プリントを配布し、次時で点検するようにしました。テスト前には、それらをまとめた宿題プリント集を配布しました。
- 家庭学習の提出状況が視覚的に分かるようにしました。
- 長期休業中の課題として、「コバトン問題集」や「県学調復習シート」を活用しました。

#### 補充学習を工夫しました！

- 定期テスト前、長期休業中には、質問会や学力層に応じた補習を実施しました。
- 学年ごとに学習に関するコーナーを設け、全国学調の問題や、授業で取り上げたよい解答を紹介しました。
- 漢字や計算、英単語の校内検定を行い、学習の目標が持てるようにしました。

## 学力調査・定期テストでは

### 定期テストを工夫して作成しました！

- 全国学調を参考に、「理由」を記述するだけでなく、「事実」や「方法」を記述する問題も出題しました。
- 以前の学習内容であっても、必ず身に付けてほしい問題は繰り返し出題しました。
- テストへのノート持ち込みを可にしたり、学校で購入したワークの中からも出題するようにしたところ、授業やテスト勉強に熱心に取り組むようになりました。

### 学力調査の問題を活用しました！

- 学力調査の問題を全教科の教員が解くことで、生徒に求められている学力を共有することができました。
- 全国学調の解答を回収前にコピーし、全教職員で丸付けをしました。誤答や正答率の状況をいち早く知ることで、早い時期から授業改善を行うことができました。

## 学校全体では

### 指導方針の統一を図りました！

- 細かいことであっても、全教員が同じ基準で指導できるよう、指導方針を統一しました。
- 職員室での会話等を通して積極的に情報交換を行い、生徒の状況について共通理解を図るようにしました。
- 「授業規律の7か条」を定め、月ごとの重点目標を決めて、全校で徹底を図りました。

### アンケートを活用しました！

- 年5回、各教科の授業について生徒にアンケートを実施し、授業改善を図っています。
- 生徒の心の状態を把握するためのアンケートを毎月実施しました。

### 小中連携を積極的に行いました！

- チャイム着席、始業の挨拶等、授業規律は中学校区内の小・中学校で統一しました。
- 小学校での出前授業や中学校の紹介など、中学校の様子を小学校に伝えるようにしました。

### 生徒の様子をきめ細かく把握しました！

- 生徒と触れ合う時間を意図的に増やし、日常的にほめたり感謝したりするようにしました。また、生徒の話をよく聞くようにしました。
- スクールカウンセラーや養護教諭等との連携を密にし、生徒の背景や近況を把握しながら指導を行うようにしました。
- 指導後のフォロー、見届けを大切にしました。

## 学年・学級経営では

### 朝の取組を充実しました！

- 毎朝、教室の黒板に次の行事に向けた意気込みや、生活態度で改善した点などのメッセージを書きました。
- 朝読書を行うことで、落ち着いた気持ちで授業に臨めるようにしました。

### 教室環境の整備に努めました！

- 学級の1年間の歩みや活動の掲示を行い、所属意識を高めました。(写真掲示含む)
- 全学級の掲示物の位置を統一しました。
- 行事で一人一役を持たせ、行事後には一人一人にがんばったことや伸びをメッセージにして伝えました。

### 学活・道徳の授業を充実しました！

- 道徳、学級会に関する掲示コーナーを設けました。
- 道徳の授業にローテーションも取り入れ、一人の教員が、同学年の全学級で同じ題材の授業を行いました。
- 学級会(話し合い活動)を充実させるため、班長会で議題を決めました。学級会を年に10回行いました。

### 生徒の自治を大切にしました！

- 集会への無言集合、チャイム着席などを学級委員や班長が呼び掛けました。
- 上級学校説明会、情報モラル教室等様々な集会を生徒が運営するようにしました。

**よい取組を、みんなで共有しましょう！**



※本資料は、実践事例を紹介したものです。各学校での取組の参考にしてください。